

編 集 後 記

『西南学院史紀要』は、創刊号が創立90周年記念事業の一環として西南学院百年史編纂諮問委員会、第2号から第5号までが同編纂準備委員会の編集で発行した。第6号から百周年事業企画運営委員会（2010.4設置）の下、百年史刊行に向けた新たな活動として設置された西南学院百年史編纂委員会（2010.5設置、委員長小林洋一神学部教授）が編集することになった。今号は、昨年4月に学院の永年の願いであった小学校が開校され、保育所、幼稚園から大学、大学院までの総合学園として、幼児教育から高等教育まで一貫教育の環境が整い「西南学院と一環教育」をテーマに取り上げ、伊原幹治中学校・高校校長に巻頭言を寄せていただいた。

特集では、関西学院の一貫教育の実践について磯貝暁成関西学院初等部長（校長）から、ミッションの具現化に向けた取り組みを寄稿いただいた。また、完成までに長い年月と多大の努力を必要とした中学校・高校の男女共学化と一貫教育について、和佐野健吾初代小学校長（前中学校・高校校長）に執筆いただいた。座談会では、深谷潤人間科学部教授・幼稚園園長の司会で進められ、寺園喜基院長からの提言を受けて、出席者から各所属の立場からの発言をいただき、中学校からの一貫生小林史奈氏（大学院研究生）の言葉から「西南が心の中に生まれるような一貫教育」と西南スピリットをまとめられた。

今回、シリーズ「西南学院と戦争」は、古澤嘉生元神学部教授に執筆いただいた。また、事務局職員夏期修養会で1970年代を振り返り大学紛争他の出来事を、親しみを持って語っていただいた川上宏二郎元法学部教授の講演をまとめた。同教授は昨年12月に急逝され、この収録が西南に託された遺言となった。ご冥福をお祈り申し上げます。

ゴールデン院長の解任からとらえたアサ会問題は、金丸英子神学部准教授に限られた紙幅でご執筆いただいた労作で、学院の史実として百年史の貴重な史料となる。野中英二教務課副課長から執筆いただいた稿の高橋清悟氏は、硬式野球部のみならず学院を支える先輩として認識させられる。尾崎恵子元文学部教授の稿は、学院の幼児教育の源流を認識し、古澤嘉生元神学部教授の稿と読み重ねると、保姆学院から現在の人間科学部、大学院へと発展の過程を知ることができる。

第6号の発行にあたり、ご多忙にも係わらず快く執筆ならびに座談会にご出席いただいた皆様に心よりお礼を申し上げます。また、発行を重ねる紀要が百年史編纂の歩みに繋がることを祈念いたします。（伊藤邦厚）

2011年5月10日 印刷

2011年5月13日 発行

編 集 西南学院百年史編纂委員会

発 行 学校法人西南学院

〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号

印 刷 福岡印刷株式会社

〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目4番3号